

令和3年度以降 第2学年英語科 シラバス兼CAN-DOリスト

名張市立桔梗が丘中学校

学習内容		目標と評価の観点			
	単元・題材	文法事項・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
通年	New Horizon English Course 2 (東京書籍)	以下に単元ごとに記載	・新出語句や表現方法を確実に習得する。 ・教科書の対話文や長文の内容を読み取り、理解する。 ・扱われる英文の内容を正確に聴き取る。	・新出の言語材料および既習の言語材料を駆使し、条件に合った英文を表現(書く・話す)することができる。 ・新出の言語材料および既習の言語材料を駆使し、自分なりの表現(書く・話す)をすることができる。	・指示をよく聞き、真面目に取り組む。 ・班活動やペアワークなど、互いのやりとりに積極的に取り組み、協働して学ぼうとすることができる。 ・家庭学習課題や提出物、準備物が確実であり、今学習していることは何であるかを意識して授業に臨んでいる。 ・与えられた例をもとに、更に自分なりの追及や発展をした表現方法・表現内容に挑もうとしている。 ・教科書の題材内容や背景、海外のことに興味を持って学習する。
	STANDARD EXERCISE				
4月	STANDARD Unit 0 My Spring Vacation 1年生の振り返り	・過去進行形 was were + ~ ing What were you doing? ・There ~ 構文 There is / are ~ There was / were ~ How many ~ s are there ...?	・春休みの思い出についての英文を読み取る。 ・過去進行形の概念について知る。 ・「there」を用いながら形式主語の特徴を知る。	・過去形と過去進行形の違いを理解し、使い分けことができる。 ・過去形と過去進行形を用いた英文で、自分の思い出について表現できる。 ・There ~ を用いて、自分の部屋や住んでいる町の紹介ができる。	・教科書以外の動詞も使って表現しようとしている。 ・過去の事実に即した自分独自の内容を表現することにこだわっている。
	EXERCISE Let's Talk 1 ホテルでのトラブル	・I have a problem with ・ ~ doesn't work ・ I apologize for ~	・ホテルでの会話の内容を読み取る。 ・苦情を言う際や謝る際の表現方法を知る。	・他の場面でのやりとりにも、学習した表現を用いることができる。 (教科書の例を参考)	・通年の記述通り
5月	STANDARD Unit 1 A Trip to Singapore シンガポールへの旅行	・未来形 be going to ~ 助動詞 will ・ S V O O show / give / tell / teach ・ S V O C call + 目的語 + 補語	・ゴールデンウィークの予定や、今から行おうとすることについて、本文の内容を読み取る。 ・ be 動詞と助動詞の文の特徴の違いを知る。 ・ S V O O と S V O C の特徴とそれぞれの違いを知る。	・近い未来のことについて自分なりの表現ができ、他人とやりとりができる。 ・会話の中で S V O O や S V O C を用いて、その場の条件に合った表現ができる。	・シンガポールの国民性や言語、観光地などについて、好奇心や興味を持って学習に臨んでいる。
	EXERCISE Unit Activity 夏休みの旅行計画			・2種類の未来形を用いて、自分なりの夏休みの旅行計画を立てる。	
	EXERCISE Let's Listen 1 機内放送	・機内放送でよく用いられる代表的かつ基本的な英文。	・機内放送の内容を聞き取る。		・回数を重ねるごとに、より詳細に聞こうとする。
6月	STANDARD Unit 2 Food Travels around the World 食文化の歴史や変化	・接続詞① When I watch TV, ... If you have time, because I ~ ・接続詞② I think (that) ...	・各国の食文化の違いや、その違いを生んだ経緯についての本文を読み取ることができる。 ・接続詞①の特徴を理解し、主節・従属節の置き換えが可能であることを知る。 ・接続詞②の使い方を知り、その省略に気付く。	・自分が「～才の頃」という題材で、接続詞 when を用いた表現ができる。 ・接続詞 if, because を用いたやりとりで、場面に応じた語句や文の選択ができる。 ・接続詞 that を用いて、自分の考えを表現できる。	・食文化がその場所の気候や歴史、生活スタイル、民族性などの背景にあることに興味を持ち、読解や音読に臨んでいる。 ・教科書にはない他国についても考えてみようとしている。

学習内容		目標と評価の観点		
単元・題材	文法事項・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
6 月 EXERCISE Let's Talk 2 ていねいなお願い ・許可を求める ・依頼する	May I ~? Could you ~? → Sure. / OK. No problem. All right.	・助動詞の性質を理解し、「May I」「Could you」の意味について知る。 ・写真を撮ってもらう場面の対話を理解する。	・レストラン、教室、電話など他の場面においても、必要に応じて「May I」「Could you」を用いることができる。	・実際場面での有用性を意識しながらやりとりの練習に取り組んでいる。
EXERCISE Let's Listen 2 インタビュー	・ both ~ and ... ・ be proud of	・職業についてのインタビューの内容を聴き取る。		・音のつながりを聞き取ることにこだわって取り組んでいる。
7 月 STANDARD Unit 3 My Future job 職業体験と将来の夢 〔前半〕	・不定詞（名詞的用法） I like to play ~ I want to be ~ ・不定詞（副詞的用法） ①行動の目的 ②感情の理由	・将来必要とされる資質についての英文や将来の職業など夢についての対話文の内容を理解する。 ・不定詞の概念とそれぞれの意味・用法を正しく理解し、文に用いられている不定詞がどのような意味・用法で用いられているものか区別することができる。	・自分が暇な時間にするのが好きなことを表現できる。 ・自分が将来になりたい職業について話すことができる。 ・自分が学校に来る目的や、最近嬉しかったこと、驚いたことについて表現することができる。	・表現活動において、課題となった1文の表現に終わらず、理由や具体的な様子を付け加えて、より個性のある表現をしようと努めている。
EXERCISE Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信	・ How's everything? ・ I'm sorry I ~ ・ Thank you for ~	・メッセージの中に含まれる挨拶文や謝罪、お礼の言い方などについて理解する。	・「導入→内容→まとめ」といった展開を意識しながら、メッセージ文を作ることができる。	・通年の記述通り
EXERCISE Let's Read 1 History of Clocks	・ little by little ・ for example ・ It's time to ~	・時計の歴史についての説明文を読み取る。		・より速く正確に内容を読み取ろうと努めている。 ・自分なりに追及して音読の質を高めようとしている。
9 月 STANDARD Unit 3 My Future job 職業体験と将来の夢 〔後半〕	・不定詞（形容詞的用法） ・ It ... to ~ の文型	・職業体験についてのレポートとして書かれた英文の内容を理解する。 ・不定詞（形容詞的用法）における後置修飾の形について理解する。 ・形式主語「it」と「不定詞を組み合わせた文の構造と、その意味を理解する。	・ something/anything を用いた不定詞（形容詞的用法）の文を含む対話で簡単なやりとりができる。 ・「重要（必要）だと思うこと」や「楽しいこと・興味深いこと」について、形式主語と不定詞を使って表現できる。	・与えられた状況により適切な表現を選択しようとする。 ・自分の気持ちや考えに即した内容を表現しようとしている。
EXERCISE Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future	・不定詞全般（全用法のまとめ）		・自分の好きなこと、向いている仕事を英 g 補で表現する。 ・例を参考にしながら、10年後の自分へのメッセージを英語で書く。	・不定詞を積極的かつ適切に用いた表現をしようとする。 ・全体の構成を意識してまとまりのある英文を書こうとしている。 ・与えられた例を模倣するにとどまらず、更に発展させた表現方法や内容など、こだわりをもって取り組む。
EXERCISE Let's Listen 3 天気予報	・ The weather in ~ will be ... ・ 天気に使われる語句 temperature / degree the low / the high	・天気予報の英文を聴き、「いつ」「どこ」の天気が「どのような」のかを正確に聴き取る。		・天候だけでなく、気温などの数値にもこだわり、より詳細に聴き取ろうとしている。

	学習内容		目標と評価の観点	
	単元・題材	文法事項・表現	知識・技能	主体的に取り組む態度
10月	STANDARD Unit 4 Homestay in the United States ホームステイでの国際交流体験	- 義務を表す表現 must / have to / has to - 不必要を表す表現 don't / doesn't have to - 禁止を表す表現 must not / mustn't - 動名詞 finish / enjoy / stop と動名詞の組み合わせ - 動名詞を主語にした文	- ホームステイ先でのアドバイス、サマースクール感想などについて書かれた英文の内容を読み取る。 ・must と have to が意味は共通するが、助動詞であるかどうかや、否定の場合の性質の違いに気づいて文を作ることができる。 ・動名詞の使い方と、不定詞（名詞的用法）との共通点・相違点について理解する。	・must と have to の意味や、それぞれの違いについて意識しながら、状況に合わせたや簡単なやりとりができる。 ・動名詞を用いて、自分にとって楽しいことや、興味深いことについて表現することができる。 ・ホームステイやサマースクールなど、中高生が海外で生活することや、その中で生活習慣の違いに興味・関心を持ちながら本文の内容に触れる。 ・動名詞で表した英文が、既習事項である他の表現方法（不定詞など）でも言い表すことができないかなど、自分なりに追及し、学習のつながりを感じる。
	EXERCISE Let's Write 2 ホームステイのお礼状—手紙—	・I'll never forget ～ ・Many thanks for ～ ・I hope to ～	・手紙文でよく用いられる新しい表現方法を理解し、文全体の内容をつかむ。	・感謝の気持ちを伝えたい相手に手紙文を書く。 ・新しく学習した表現を用い、まとめや構成を意識した手紙文を書こうとしている。
	EXERCISE Let's Listen 4 電車の運行状況 Let's Talk 3 電車の乗り換え—道案内—	・delay / on time ・between ～ and … ・change trains	・電車の運行状況に関するアナウンスを聴き、目的地へ行くための必要な情報を把握することができる。	・放送の内容から、目的地へ行くための方法を考える。 ・回数を重ねるごとに、より詳細に聞こうとする。
11月	STANDARD Unit 5 Universal Design ユニバーサルデザインの意義	・疑問詞＋不定詞 ・I'm sure ～	・ユニバーサルデザインのイベントやその感想について書かれた英文の内容を理解する。 ・疑問詞＋不定詞から成る節の意味とその使い方を理解し、SVOやSVOOの文に用いることができる。	・「how to」を用いて、互いの知っていることや知らないことについて簡単なやりとりができる。 ・通年の記述通り
	EXERCISE Let's Talk 3 電車の乗り換え—道案内—	・Could you tell me how to get to ～? ・Which line should I take from ～?	・電車の乗り換えを含めた道案内の対話の内容と、その中で使われる独特の表現方法を理解する。	・教科書の路線図や対話文をもとにしながら、現在地と目的地を変えて、生き方を尋ねたり教えたりすることができる。 ・通年の記述通り
	EXERCISE Let's Listen 5 留守番電話	・疑問詞や不定詞を中心とした既習事項全般。	・留守番電話のメッセージを聴き、要件を理解する。	・回数を重ねるごとに、より詳細に聞こうとする。
12月	STANDARD Unit 6 Research Your Topic 好きなトピックについての調査と発表〔前半〕	・比較の文① ・比較級、最上級（～er）（the ～est） ・more, the most	・映画を題材にした日常会話などの英文の内容を理解する。 ・形容詞・副詞の概念を知り、それらの比較級や最上級で表された英文の意味を理解する。 ・比較級や最上級を含む英文の中で使われる特徴的な語句（than, in, of等）について知る。	・与えられた場面・状況や資料等の情報について、比較級、最上級を用いて正確に英語で表現することができる。 ・比較級、最上級を用いて、与えられた場面や状況、資料等の情報から、少しでも多くの（種類の）英文を作ろうとする。
	EXERCISE Let's Talk 4 買い物—申し出る・要望を伝える—	・May I help you ? ・I'm looking for ～ ・How about this one ? ・how much ・I'll take it.	・服を買う時の店と客の表現を理解し、商品の種類、サイズ、色、価格などの尋ね方や伝え方の表現方法を理解する。	・買い物の場面設定において、自分の必要に応じた商品の種類、サイズ、色などを伝えながら会話を展開し、その値段を確認することができる。 ・客、店員がよく使う他の表現についても興味を持って学習に取り組む。

	学習内容		目標と評価の観点		
	単元・題材	文法事項・表現	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
1月	STANDARD Unit 6 Research Your Topic 好きなトピックについての調査と発表〔後半〕	・比較の文② ・ better, the best ・ as ~ as ...	・映画を題材にしたクラスのアンケート調査やその結果をもとにした英文の内容を理解する。 ・ like を用いた英文に、better, the best を組み合わせることで、好きなものの比較や好きな程度を言い表せることを知る。 ・ as ~ as ... の文の意味と特徴を理解する。	・ like を用いた英文に better, the best を組み合わせ、互いの好きなものについてのやりとりを行う。 ・ as ~ as ... を用いて、自分の気持ちや考え、または自分の周囲に言い表せるものがないかを見つけ、正しく表現する。 ・ not as ~ as ... で言い表した英文を比較級を用いて表現することができる。また、その逆の方法でも言い換えることができる。	・より多くのトピックで友人と対話練習しようとする。 ・身の回りのことや自分の思いについて、より多くの種類の形容詞や副詞を用いながら表現しようとする。
	EXERCISE Let's Read 2 A Glass of Milk	・ a glass of ~ ・ in front of ~ ・ be afraid to —	・物語を読み、場面や登場人物の心情の変化を読み取る。		・より気持ちをこめたり、流暢に音読しようと努める。
	EXERCISE Stage Activity 2 Research and Presentation	・比較級・最上級全般		・例文を参考にし、クラスで人気のあるものについて、自由なトピックでインタビューをしたり調査結果をまとめたりする。	・自分の興味に応じて調査しようとする内容を考え、インタビューやまとめの活動に意欲的に取り組む。
2月	STANDARD Unit 7 World Heritage Sites 世界遺産の特別な価値	・動詞の過去分詞 ・受動態（受け身の文）	・世界遺産についての対話文や説明文の内容を理解する。 ・よく使用される動詞の過去分詞を覚える。 ・受動態の形を理解し、現在形、過去形だけでなく、助動詞を用いた文の意味や表現方法についても知る。	・受動態を含む簡単なやりとりができる。 ・主語を変えながら、受動態と能動態を交換する（態の変換を行う）ことができる。	・オーストラリア、イタリヤ、日本などの世界遺産について、興味を持ちながら学習を進める。
	EXERCISE Let's Listen 6 商品のコマーシャル	・既習事項全般	・テレビコマーシャルから商品の特徴・価格、販売している会社などの情報を聴き取る。		・回数を重ねるごとに、より詳細に聞こうとする。
	EXERCISE Let's Talk 5 電話でのやりとり —誘う・断る—	・ May I speak to ~? ・ What's up? ・ will be held ・ I'd like to ~ ・ That's too bad.	・電話独特の表現の仕方や、誘う言い方、承諾する言い方、断る言い方を理解する。	・互いに誘う、それに対して承諾したり断ったりする言い方を、自分の思いや場面に応じて会話の中で用いる。	・通年の記述通り
3月	STANDARD 1年間の総復習と不足分の補充				
	EXERCISE Let's Listen 7 店内のアナウンス	・既習事項全般	・店内のアナウンスを聴き取り、特別価格、割引についての情報や案内の場所を把握する。		・回数を重ねるごとに、より詳細に聞こうとする。
	EXERCISE Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	・ How often ~? ・ How can we get there? ・ be a must ・ be famous for ~	・例文を読み、その内容と好きな（おすすめの）場所の紹介の仕方を知る。	・例文をもとに、名張市または三重県のおすすめのスポットを英語で紹介する。	・通年の記述通り
春休み	【宿題】 Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	・総合的内容	・人物の伝記を読んで、時系列を整理しながら内容を理解する。		・単語練習や英文和訳、英文練習などの課題を確実にこなす。